

六甲高山植物園 神出鬼没?! ギンリョウソウモドキが開花しました!

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、寄生植物のギンリョウソウモドキが開花しました。

ギンリョウソウモドキは、葉緑素を持たず菌類に依存して栄養分を得ている菌従属栄養植物です。6月に開花するギンリョウソウに似ていることからこの名があります。花の時期以外は地上部がなく、条件がそろわなければ出てこないため、その姿を見ることは稀です。当植物園では2015年に開花を確認したのち2022年に再び開花するまで6年間は地上に姿を現しませんでした。



■ギンリョウソウモドキ(ツツジ科)

東アジア・北アメリカの温帯に広く分布し、日本では北海道～九州で見られます。林内のやや暗いところに生え、高さは10cm～30cm。菌類(菌根菌)から栄養分を得る従属栄養の多年草で葉緑素を持たず、全体が白色でやや赤みを帯びます。秋に開花することから別名をアキノギンリョウソウと言います。当園のギンリョウソウモドキは、あと1週間程度お楽しみいただける見込みです。

◆リリースに関する問合せ先

六甲高山植物園 TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】開園中～11月24日(日)

【開園時間】10:00～17:00(16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)900円/小人(4歳～小学生)450円

【駐車場】1,000円

六甲高山植物園 <https://www.rokkosan.com/hana/>